

FANCL

正直品質。

株式会社ファンケル

横浜市中区山下町 89-1 〒231-8528

代表取締役社長執行役員 CEO 島田和幸

TEL:045-226-1200

報道関係者各位(参考情報)

2021年11月5日

ケミカルリサイクルPET 100%の素材を化粧品容器に採用 プラスチック循環社会の実現を目指して 2023年3月末まで順次切り替え

株式会社ファンケルは、サステナブル宣言を2018年から策定して「環境」を重点テーマの一つとしています。その中で、プラスチック循環社会の実現を目指すことを目的に「サステナブルな容器包装化」や「使用済みの化粧品容器回収」を積極的に取り組んでいます。その一環として11月18日(木)からリニューアル新発売する「マイルドクレンジングオイル」のボトル容器を、ケミカルリサイクル技術により作られた100%再生由来のPET素材に切り替えます。さらにこの切り替えを皮切りとし、2023年3月末までに化粧品のPET容器を順次ケミカルリサイクルPET(ポリエチレンテレフタレート)100%の素材へ切り替えます(一部製品を除く)。

化粧品の容器で使用しているPET素材は、着色や加飾があるため一般的にリサイクルがしにくいとされています。しかし昨今の環境問題において、PETを始めとするプラスチック使用の課題は大きく、使用量の削減のほか、循環型にする方法の検討が必要とされています。

ケミカルリサイクルPETは、使用済みのPET素材をケミカルリサイクル技術により再生させた素材です。一般的なりサイクルPETは、再生を繰り返すことによる劣化が生じ、品質の担保が難しいとされてきましたが、ケミカルリサイクルPETは石油由来のバージンPETと同等の品質を有することができます。さらにこの技術を使用することで、幅広いPETの再利用が可能となり、プラスチックの循環社会を担うものとしても優れています。

そこで当社でも、環境の課題解決に役立てるよう、化粧品のPET容器をケミカルリサイクルPET素材に順次、切り替えていきます。第一弾となるマイルドクレンジングオイルは、この切り替えにより石油由来のバージンPETに比べて、約47%のCO₂排出量が削減できます。

また、2021年7月から使用済みの化粧品容器を独自の仕組みで回収する「FANCL リサイクルプログラム ～花と緑を広げよう～」を実施しています。専用の回収ボックスを設置し、回収した容器は植木鉢にリサイクルして「ガーデンシティ横浜」を推進するリーディングプロジェクト「ガーデンネックレス横浜」(横浜市主催)との連携事業として寄贈します。現在、神奈川と東京の直営店舗6店と、旗艦店であるファンケル銀座スクエアの1階インターナショナルショップ、3階ビューティショップの計8店で行っており、さらに実施店舗の拡大も予定しています。同時に当社従業員も参加をし、お客様と一緒に活動をしています。

温暖化や昨今の異常気象など、地球を取りまく環境問題はますます深刻になっていきます。当社では今後も、プラスチック問題などの環境課題の解決に向けて、当社ならではの活動で貢献してまいります。



回収ボックス



本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 経営企画室 広報部 陣内真紀

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <http://www.fancl.jp/>